

## 日立市立学校再編計画を改定する検討方針（案）の概要

## 1 日立市立学校再編計画について

## (1) 基本的な考え方

ア 学校の規模が小さくなると、人間関係の広がり、学習形態の多様さ、課外活動の種類などが制限され、本来、それらを通して得られる社会性や人格形成に必要な成長の機会を狭めてしまうことが懸念されます。

イ 児童生徒の習熟度に応じたきめ細やかな学習指導や生活上の指導、教員の相互研修、児童生徒と向き合う時間の確保など、一定の学校規模を確保することで、教員の配置が充実し、多様な指導体制や学校運営体制を整えることが可能になります。

## (2) 計画改定の経緯

ア 本市の学校再編は、20年先を見据えて進めることとしており、令和3年から令和12年までの10年間に取り組む具体的な内容を明らかにするため、日立市立学校再編計画（第1次計画）を策定しています。

イ 本計画は、令和3年の策定当初から、児童生徒数の推移などを踏まえて3年程度を目安に再編の進捗を検証し、計画の見直しを行うこととしているため、本年5月に学校再編計画改定検討委員会を設置し、協議を進めています。

## (3) 統合の進め方

統合の対象となる学校の関係者（教員、保護者、地域の代表）で組織する統合準備委員会を設置し、学校名などの統合に必要な事項について協議を行います。

## 2 計画を改定する検討方針（案）について

## (1) 現在の計画

ア 大沼小学校の学区を南北に分割し、北部を河原子小学校に、南部を水木小学校にそれぞれ統合します。

イ 分割統合後の大沼小学校の跡地に、河原子中学校と泉丘中学校の統合校を新設します。

## (2) 計画を改定する検討方針（案）

ア 大沼小学校の分割統合は行わずに、当面、河原子小・水木小・大沼小は現在地で存続します。

イ 中学校の適正な規模を維持するため、河原子中学校は比較的距離の近い大久保中学校に統合します。

以上